

# ニシン ミニプラザ

～獲れたニシンの価値を高め、資源を守っていこう！～



近年、皆様の取り組みが実をむすび、管内でのニシンの漁獲が大幅に増えています。今後はこの資源をさらに増やして維持していくことももちろん大事ですが、いかに価値を高めていくか、ということが大切ではないでしょうか。

今回のミニプラザでは付加価値の向上につながる鮮度保持、加工、資源管理の話や、最近の産卵状況等をお話します。

堅苦しい会議ではありません。気軽に参加していただき、どんどん意見を出して下さるようお願いいたします。

日時:(小樽地区) 平成22年12月13日(月) 15:00～16:30  
(石狩地区) 平成22年12月15日(水) 14:00～15:30

場所:(小樽地区) 小樽市漁業協同組合 会議室 小樽市色内3丁目5-18  
(石狩地区) 石狩市厚田保健センター 会議室 石狩市厚田区厚田45-5

## 開催内容

1. 開会挨拶
2. 話題提供(道総研水産研究本部中央水産試験場 内容は裏面)および質疑応答
  - ・石狩湾系ニシンの栄養成分と鮮度保持について(加工利用部 主査 菅原 玲)
  - ・価値の高いニシンを漁獲するために(資源管理部 主査 山口 幹人)
  - ・ニシンの産卵藻場について(資源増殖部 主任研究員 高橋 和寛)
3. その他
4. 閉会挨拶

主催:道総研水産研究本部

参加費:無料

参加申し込みと締め切り:各機関とも下記の連絡先に12/8(水)までにお願ひします。  
漁業者の方は漁業協同組合にご連絡下さい。  
当日参加も会場に空きがあれば可能ですが、会場の設営上  
ご連絡いただくと助かります。

連絡先:余市郡余市町浜中町238番地 道総研水産研究本部 企画調整部企画課 三坂尚行  
電話0135-23-8705 FAX0135-23-8720  
E-mail:misaka-naoyuki@hro.or.jp

## ニシン ミニプラザ 話題提供内容

### 1. 石狩湾系ニシンの栄養成分と鮮度保持について(加工利用部 主査 菅原玲)

近年、石狩湾系ニシンは1月からの約3ヶ月間で1000～2000トン漁獲され、最近の平均単価は500円前後になっています。中央水産試験場加工利用部では、これまで石狩湾系ニシンの筋肉の栄養成分や水揚げ後の鮮度変化等を把握してきました。また、来年度から2年間の事業で「石狩湾系ニシンの高付加価値化」に取り組むことになっています。本事業では、石狩湾系ニシンを周年供給できるように、高品質かつ安全性の高いニシン及びその加工品の加工・流通技術開発を行い、石狩湾系ニシンの利用と、需要拡大に繋がりたいと考えています。本ミニプラザでは、これまで得られている石狩湾系ニシンの栄養成分と鮮度保持に関する知見、ならびに来年度からの事業概要についてご紹介いたします。

### 2. 価値の高いニシンを漁獲するために(資源管理部 主査 山口幹人)

資源管理の手法では、直接ニシンの付加価値を高めることは出来ません。しかし価値の高いニシンを漁獲し、なおかつ資源の維持増大を図ることが出来ると考えます。これについては、少々乱暴ですが、“管理”の逆である“乱獲”を考えるとわかりやすいと思います。乱獲では、漁獲努力を増やしても、漁獲量は増大せず、漁獲物は小型化します。つまり資源管理での付加価値向上とは、漁獲努力をコントロールし、漁獲量(資源)を増大させつつ、大きな魚(価値が高い)をとるということと考えます。そのための方策についてお話ししたいと考えています。

### 3. ニシンの産卵藻場について(資源増殖部 主任研究員 高橋和寛)

中央水試資源増殖部は平成8年から、主に石狩市厚田区、小樽市、余市町でニシンの産卵場所の範囲や産卵量、またニシンが産卵する藻場や地形の特徴を明らかにするための現地調査を行ってきました。管内では平成10年4月に厚田区嶺泊で初めてニシンの産卵が確認されて以来、今春まで継続して調査を行っております。今回は、特に最近みられるようになった群来後の水中ビデオや写真を交えながら、これまでの調査結果を紹介します。